

自治会と市政



地域づくり懇談会

市政を進めるうえで、自治会は、不可欠な住民組織です。交通事故防止、防犯、防災などの活動や、市が主催するイベント、スポーツ行事などへの参加、また、市報をはじめとする行政からのお知らせ文書の配布・回覧など、市が行うさまざまな事業に協力していただいています。

さらに、これからは地方分権の時代であり、市民のみならずと行政とのより強固なパートナーシップが必要とされています。

このように、自治会と行政が、それぞれの役割を認識し互いに協力し合うことで、昨年11月に市町村合併により誕生した山陰最大の都市鳥取の将来像『人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市鳥取』が、現実のものとなっています。

の中で、自治会は、その間を取り持つ太いパイプ役としてより重要となってきました。

鳥取市は、これらのことを踏まえ、自治会の活動支援に力を入れています。

厳しい財政状況ではありませんが、平成17年度予算に新規事業として「自治会活動活性化支援補助金制度（5ページ参照）」を盛り込むなど重点を置いています。また、市民の声や地域が抱えるさまざまな問題や課題などを把握し、それらを解消するために、広聴事業（下表参照）にも力を入れています。

鳥取市が進めている主な広聴事業

市政提案箱（市長への手紙）

市民参画による市政運営をめざすため、市民のみなさんが、市政に対する提案などを直接市長に届ける制度です。

市役所各庁舎、各総合支所をはじめ、公共施設、郵便局などに切手不要の専用封筒と用紙を配置しています。



市長アワー

市長アワー

市役所本庁舎市民談話室と各総合支所のそれぞれの場所で、毎月1回1時間程度、市長が市民のみなさんと意見交換やコミュニケーションを行う市長アワーを開催しています。

地域づくり懇談会

市民のみなさんと市長が、地域や市政の課題について直接意見交換することで、対話行政の推進と地域の一層の発展を図ることを目的に実施しています。

平成17年度は、6月から12月の間に、合併前の鳥取市地域17地区と総合支所区域8地区の合計25地区で行う予定です。

地区要望

町内会の住民の生活環境整備、防犯、福祉の向上などに関するもののうち、地域の共通課題で住民合意が得られた要望事項を地区ごとに集約して提出していただきます。そして、次年度の予算や施策に反映させ、市民生活の向上に役立てる目的で実施しています。

市民の声データベース管理システム稼働

鳥取市は、市政提案箱、市長アワー、地域づくり懇談会など市民のみなさんから寄せられた声に対して、説明責任を果たし回答の公平性を保つため、「市民の声データベース管理システム」を今年4月から導入しました。

このシステムにより、意見・要望の一括管理、事務の効率化、迅速な対応ができるようになりました。また、市政提案箱に寄せられた意見・要望に対する回答や進捗状況などの内容(個人情報除きます)を、市のホームページに掲載し常に最新情報に更新していますのでご覧ください。

